

令和2年度第3回 大野市水循環・湧水文化再生推進連絡協議会議事概要

日 時：令和3年2月12日(金)
午後1時30分～午後2時40分
場 所：結とびあ3階 305・306号室

1. 開会

2. 会長あいさつ

- ・ 我々と水とは様々な形で関わっており、それを総合的に施策として捉えていくのがこの協議会であり大野市水循環基本計画になろうかと思う。
- ・ これまで、単に大野市だけではなく九頭竜川流域という観点から広域的にも水循環を捉えていくことも議論し、そうしたことを踏まえながら皆様と計画を策定してきた。
- ・ 今後計画を推進する上でのご助言も含め、ご意見をいただきたい。

3. 協議事項

1) 大野市水循環基本計画案について

前回会議からの主な修正点とパブリックコメントの結果概要について説明

【主な質疑・意見】

- 水循環の施策展開に財源の確保が重要だと記載されているが、これまでどのような財源がどのように使われてきたのか。
- これからの10年間で将来像を実現していくために必要となる財源の見通しなどを立て、地下水協力金などの実現に向け集中して取り組んでいただきたい。
- 湧水が豊富な状況が良い状態だと、広く市民に理解してもらえれば、地下水利用にコストが掛かるとしても理解は得られるはずである。
- ボトルドウォーターは、水道水が原料となるものも含まれる意味になるので、意図がずれないように表現の検討を願う。
- 環境行政の組織強化や職員配置の継続性に留意願う。
- 本計画は、今後の進められていく具体的施策の根拠となり、その方向性を示しているものと理解している。行政においては調査などを行いながら、根拠に基づいた形で施策を推進して欲しい。
- 目次でSDGsに触れているが、SDGsが何か説明を加える必要がある。

2) (仮称) 大野市水循環推進連絡協議会の構成(案)について

今後の協議会委員構成等の案について説明

【主な質疑・意見】

- 地下水対策審議会と当協議会の役割分担について明確化していく必要がある。
- オブザーバーの立場が分かり易くなった。
- 有用な知見が研究成果として出てきたら情報提供していく。
- 市民の意見を広く取り入れることができるよう、委員の定員については柔軟に対応できるような要綱にするなどの検討をお願いする。

4. その他

今後の事務手続きなどについて事務連絡

閉会